

GitHub 入門（インストラクション）

産業技術大学院大学

中鉢欣秀

2016-08-18

1 GitHub 入門

1.1 この資料の入手先

- https://github.com/yhubachi/github_practice

1.2 この授業について

- この授業では Git の初心者が、基礎的な Git コマンドの利用方法から、GitHub Flow に基づく協同開発の方法までを学ぶ

1.3 事前準備

- 事前に git コマンドが利用できる環境を用意しておくこと
- CUI 端末での shell による基本的な操作を知っているとスムーズに演習ができる

1.4 授業の構成

- 個人演習では、テキストの指示に従い、Git/GitHub を利用するにあたり必要となる知識を学ぶ
- チーム演習では、GitHub を活用した協同開発の方法を深く学ぼう

1.5 授業の進め方

1. 演習の解説

- 講師が授業の進め方を説明する

2. Git/GitHub を学ぶ個人演習

- 個人演習を通して Git/GitHub の使い方を学ぶ

3. チーム演習

- チームでの開発演習を実施する

2 個人演習

2.1 個人演習のテキスト

- 個人演習のテキストは次のリンクから入手
 - [Web ページ](#)
 - [ハンドアウト \(PDF\)](#)

3 個人演習からチーム演習へ

3.1 個人演習からチーム演習への流れ

- この授業では最初に個人演習を行い、その後、チームによる演習に進む
- その際、チーム編成が既に済んでいるか、または、そうでないかで演習の進め方が異なる

3.2 チーム編成が済んでいる場合

- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを終えたメンバーは他のメンバーを積極的に助ける
- 全員がテキストを終えることを目指す
- 全員が完了、もしくは、時間になったらチーム演習に進む

3.3 チームがまだできていない場合

- 後ほど席の移動をするので荷物をまとめておく
- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを完了したら講師・TA に伝えること
- その後、チーム編成を経てチーム演習に進む

3.4 チームがまだできていない場合の編成方法

- 個人演習が完了した者から順番に 2 名ずつのペアを組んでいく
- できたペアは空いている席に移動して、チーム

演習を開始する

- 受講者の半数がペアになったら、それ以降にテキストを終えた者は既存のペアに追加していく
- 最終的に 3 ～ 4 人のグループにする

4 チーム演習

4.1 チーム演習のテキスト

- チーム演習のテキストは次のリンクから入手
 - [Web ページ](#)
 - [ハンドアウト \(PDF\)](#)

5 成績評価の方法

5.1 チーム演習の評価

- チーム演習での GitHub のリポジトリを対象に、主に以下の項目について評価する
 - コミットの数（一人 5 個以上）
 - コミットの粒度（意味のある単位でできるだけ細かく）
 - コミットメッセージの分かりやすさ
 - ブランチの名前が作業内容を表しているか
 - プルリクエストの活用
 - Wiki や Issue の活用
 - コンフリクトの解消ができたか
 - README/LICENCE
- ようするに「GitHub Flow」がうまく回せたか？

5.2 提出物

- 提出物は次のとおり
 - 名前
 - 学籍番号
 - GitHub のアカウント名
 - GitHub のリポジトリの Web URL
 - * 個人演習「our_enpit」
 - * チーム演習「team_enpit」
 - 各自が行った作業の内容
 - 自分が作成したコミット数
 - 自己評価
 - * 5 段階：5 はとても優れている, 4 は優れている, 3 は普通, 2 は劣っている

- 自己評価の理由
- 演習全体の感想

5.3 成果物の提出方法と補足資料

- 成果物の提出方法や、その他の補足資料は Wiki を参照
 - [Home · ychubachi/github_practice Wiki](#)

6 問い合わせ

- この授業の内容や資料に関する質問や問い合わせ、改善提案は GitHub の Issue に登録してください
 - [Issues · ychubachi/github_practice](#)